

森づくり通信

No.71

2024年3月21日(木)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



福寿草

今年はいじめての森づくり通信になりますが、1月1日の令和6年能登半島地震に触れないわけにはいきません。

実際に被災された現地の方々や、実家が能登という多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。

お正月におじいちゃん、おばあちゃんの実家に集まり楽しく過ごそうとした矢先の地震で、なぜ、このタイミングで？。なぜ自分の家族が！。なぜ、なぜ…。の思いがこみ上げてくると思います。

また、一変した風景の中で今後のことを考えると、胸が締め付けられる思いも忍ばれます。インフラの整備もこれからが本番で長い時間がかかると思いますが、東北や阪神の街のように復興が進むことを心から願っています。

令和6年 森づくりイベント予定(一般参加可能活動)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
5月5日(日)	キゴ山山開きイベント キゴ山の自然体験イベント多数	銀河の里キゴ山	キゴ山ふれあい研修センター 076-229-0583
5月18日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備とシイタケ植菌体験	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
5月26日(日)	森のファミリースクール ツリークライミング、木道整備等	医王の里キャンプ場	テレビ金沢 076-240-9013

12月9・10日(土・日) クリスマス・ヴィレッジ

金沢の木育 クリスマス・ヴィレッジが金沢市民芸術村で2日間開催され、約2100人の来場者で賑わいました。木を使ったゲームや木やどんぐりなどで作品を作るブースを設置し、木に親んでもらい森林の大切さを来場者にPRしました。私達は木のカーリング作



りを担当し173名の親子参加者がありました。スギの丸太をノコギリで切ってもらい、ハンドサンダーで磨いてイラストなどの装飾を行い、カスガイを取り付けて会場に設置したゲートを狙い遊んでももらいました。フィンランド発祥のモルックゲームも大人気でした。





森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての話や、森づくり活動の際、現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

12月26日(火) たいよう児童クラブ出前講座

平和町のたいよう児童クラブより森の出前講座の申込みがあり、午前10時から11時まで児童25名を対象に行いました。

他児童クラブではネームプレートなどを作る作業も一緒に行う講座が多い中、森の話だけで良いとの希望で、森や自然に興味を持てるように森の話をクイズ形式にしたり、わたし達のおいしい飲水を森が作ってくれる「雨水のぼうけん」の紙芝居を行い、質問のやり取りも多めに行いました。



2月5日(月) 善隣館こども園出前講座

野町の善隣館こども園の園児14名を対象に森の出前講座を行いました。

卒園記念の一つにするネームプレートを作りたいとのことで、森のはなしと雨水のぼうけんの紙芝居を見てもらい、スギのコスターを磨いてネームプレートを作りました。

スギの木の匂いを感じてもらいながらネームプレートに名前とイラストを描いて、金沢の森の妖精かなりんのシールなどで飾り付けをしてもらいました。



12月27日(水) ふたば児童クラブ出前講座

駅西新町のふたば児童クラブの児童20名を対象に午前10時から11時半まで森の出前講座を行いました。

講座時間は1時間半あったので、森のはなしと「雨水のぼうけん」の紙芝居をゆっくり行いました。

その後、スギのコスターをサンドペーパーで磨き、名前とイラストやシールを貼って飾りつけを行い、ヒモをバック用または首から下げる用の長さに取り付けて完成させました。



2月6日(火) いしかわ特別支援学校出前講座

県立いしかわ特別支援学校より原木シイタケを栽培したいとの要請を受けて、生徒31名を対象にシイタケの植菌をメインに森の出前講座を行いました。

最初に座学で森とシイタケのはなしを行い、屋外に出て原木の穴あけや植菌の仕方を実演説明してから植菌を行ってもらいました。

希望者には手を添えて植菌ドリルで穴開けをしてもらい、皆初めての経験で楽しんで行っていました。学級以外の子供も見学に来て興味津津で見っていました。



金沢市 海岸松林 再生事業

金沢海岸の松林は防砂や防潮、防風のため先人が植栽、保育してようやく大きく成長し、人家や作物を守ってくれるようになりました。

ところが昭和の末頃から石川県でも、マツが大量に枯れる現象が目立ち始め、里山をはじめ貴重な海岸松林にまで被害が拡大してきました。

減少した海岸の松林を地域住民やボランティアの力で再生し、美しい松林を後世に引き継ぐために、金沢市が計画を策定し抵抗性クロマツを、粟崎から打木に至る金沢海岸に植栽しています。

※抵抗性クロマツとは松枯れの原因となるマツノザイセンチュウが、松の樹体内に侵入しても枯れにくい、抵抗力のあるクロマツです。



2/23 (金・祝) 粟崎地区

粟崎パークゴルフ協会の会員の皆さん110名が参加し、抵抗性クロマツの苗を350本植えていただきました。ポイントとして深植えにならないように植えることが大事だと実演説明して植えてもらいました。



2/23 (金・祝) 専光寺地区

金沢市海岸砂防協会の会員の皆さん18名が、専光寺ふれあいの森に抵抗性クロマツを200本植えました。参加人数は少なかったものの皆さん慣れていたので手早く終了しました。



3/14 (木) 粟崎地区

金沢林業大学校の研修8期生11名が粟崎やすらぎの林内の一角に抵抗性クロマツを250本植えました。植える前の地ごしらえは専門コースの研修生3名が重機で整地を行いました。



3/15 (金) 専光寺地区

金沢市マレットゴルフ協会の会員50名が、専光寺ふれあいの森のホームグラウンド内に抵抗性クロマツの苗を200本植えました。コース内なので植栽地がバラバラでしたが効率よく植えてもらいました。



3/16 (土) コマツ金沢工場 抵抗性クロマツの植栽

コマツ金沢工場では地域社会貢献の一環として、工場近くの粟崎やすらぎの林内において、コマツ従業員と地元粟崎町会の皆さん70名が参加し抵抗性クロマツの苗400本の植栽を行いました。



工場長、粟崎連合町会長、同相談役の開会の挨拶後、植栽地に移動し植栽の仕方の説明を行いペアになって植えてもらいました。かなりの本数でしたが素早く丁寧に行ってもらい、集合写真撮って解散しました。



金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどでもできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	令和6年 4月5日(金)	石川森林 文化ホール	年3月26日(火)
伐木等業務(チェーンソー)特別教育	令和6年 4月10(水)~12日(金)	石川森林 文化ホール	年3月26日(火)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。
登録会員の方には受講に対するの支援を行っていますので、希望される方は是非受講して下さい。
会場は 石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)
※お問い合わせ・お申し込みは、期日までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。
※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)
※申し込み期間が短いのでご注意ください。

編集雑記

「健康診断」

皆さんも毎年何らかの健康診断を受けていると思います。中には数値が悪くても歳のせいになり、自覚症状がない、面倒くさいなどの理由で精密検査を受けずにそのままという方が多いのではないのでしょうか？

そもそも健康診断とは病気の早期発見、早期治療に役立てるためにある制度で、決して受診者にいやな思いをさせるためにあるものではありません。

私事ですが数値が悪いとのことで、歳のせいだと安心するために精密検査を受けた所、病巣らしいものが見つかり、血液は何回も採られるし造影剤を血管内に注入しての CT や MRI、PET 検査、生検も行い薬の処方など感覚的にはほぼ毎日のように検査に行き、あれよあれよという間に立派な患者様になりました。

病院通いをしているとだんだん病人になってゆく感覚になりますが、見つからなければ能天気にご過ごしていたと思うとどちらがラッキーなのかは一目瞭然かな。

